

The 2 Chome Times 2019年11月号

NO1のプレミアムストリートをめざして



NO258.

2019・11月・25日

発行 神戸三宮センター街2丁目商店街振興組合 (tel331-3091) (fax333-8591)

2丁目タイムス11月号

編集：企画・商業振興部、編集長：芹澤邦明 <http://www.centergai2.com> E-mail:centergai2@nifty.com



フェイスブックでも発信しています <https://www.facebook.com/centergai2/>



2丁目でKOBE Free Wi-Fi ご利用いただけます

★富川 沖縄県副知事 が三宮センター街2丁目を視察



「KOBE 夢未来号沖縄」などの様々な交流事業を通じて、すっかり身近な存在になっている沖縄県から、富川盛武副知事がご公務多忙中、三宮センター街2丁目をお訪ね下さいました。ストリートミュージアムに収蔵されていて沖縄の誇るアーティスト大嶺實清さん、國吉清尚さんの作品を中心に紹介し、久利理事長から「センター街を通行する人に沖縄の文化を発信する機会になっているようです」と伝えると大変喜ばれていました。また、床が綺麗に保たれていることに非常に感心して

おられ、毎月の清掃活動の成果を感じられる場面もありました。KOBE・ひと街創り協議会の様々な取り組みを熱心に聞かれ、富川副知事からは「神戸から沖縄のことを教えられ、考えさせられる事が多々あります」と過分なお言葉を頂きました。お話の中で、これまでお世話になった沖縄の方々のお名前が多数登場し、ますます沖縄と神戸の縁が広がり、強まっているようです。これからも「チムグクル」（真心）を持って交流を深め、沖縄に心を寄せ続けていきたいと思っています。

★今年もお届けいたしました

恒例の神戸ワイン2,000本を組合員の方々にお配りさせて頂きました。今回のラベルは版画家、故川西英先生の作品、かつて諏訪山にあった「諏訪山動物園」のラベルをご用意させて頂きました。阪神大震災から10年を経て始められたこのプロジェクトですが、今年の葡萄は7月下旬から8月前半にかけて続いた晴天で、例年よりも着色が早く、糖度も乗り、順調に生育しました。その結果、今年のワインの出来も素晴らしい仕上がりになっています。今回でお配りし始めてから16回目になるこの神戸ワインを存分にお楽しみ下さい。ちなみに記者が担当する店舗でも、多くのお客様が毎年楽しみにされ、喜ばれております。

★首里城復興へのタペストリーを掲げます

焼失してしまった首里城再建を後押しすべく街でも動いていますが、御通行中の皆様にもご協力をお願いするために、各店舗に募金箱を設置させて頂きました。実際に皆様にその事を認知して頂くために「再建応援タペストリー」が街に掲げられました。現在は横長の物ですが、年明けには写真のように大きなタペストリーも掲げられます。国を挙げて再建を後押しする流れができていますが、さらに街としても強く進めていきます。皆様におかれましても、どうぞご理解の上、お客様へのお声がけなどをよろしくお願いいたします。



★今年台湾に行ってきました！

2019年度 三宮センター街2丁目商店街振興組合の研修・親睦旅行が11月6日～8日の日程で行われ、



台湾、台北に行ってきました。三日間とも晴れの天候に恵まれ、大変楽しく有意義な旅行となりました。台湾と言えば中華料理ですね。台湾到着、一日目の夜はミシュラン二つ星の中華料理を、二日目は参加の皆様それぞれに現地の料理を楽しまれました。台北市内には、かつての日本統治時代のインフラ、建物が装いを変えて様々の用途に使われて

いるのが、興味深かったです。蒋介石総統の顕彰施設「中正記念堂」は、大変立派な施設で、蒋介石の権力の大きさが偲ばれる施設でした。その他、衛兵の交代の儀式など、見どころは多くあったのですが、なんとと言っても「故宮博物院」が最大の見どころでした。「故宮博物院」には中国四千年の歴史が詰まっております。最後になりましたが、今回の旅行でお世話になった、(株)ツーリストイン神戸さんと添乗された吉田様に感謝申し上げます。



★神戸市立博物館がリニューアルオープンしました！

約2年間のリニューアル工事を経て11月2日にオープンした「神戸市立博物館」ですが、それを



記念して同館所蔵の名品展が12月22日(日)まで行われています。作品数は約150点にもものぼり、「考古・歴史」「古地図」「美術」の3部門で構成されています。「考古・歴史」では、国宝『桜ヶ丘銅鐸・銅戈群』や『源平合戦図屏風 一の谷合戦図』のほか、幕末から明治を伝えるさまざまな資料が見られます。「古地図」では、16世紀から19世紀の日本地図、世界地図が展示されており、江戸時代に伊能忠敬が測量した「沿岸地図」など見応えのある資料が目白押しとなっています。「美術」では、重要文化財の3点である「泰西王侯牙図屏風」「四都図・

世界図屏風」「南蛮屏風」が並び、圧巻です(「南蛮屏風」の公開は11月24日まで)。また2階のコレクション展示室では、歴史の教科書で観た「聖フランシスコ・ザビエル像」も見られます。実際に印象に残ったのは豊臣家の御用絵師、狩野内膳が製作し、400年以上が経ってもその輝きが変わっていない「南蛮屏風」や、伊能忠敬の「沿岸地図」で、その精密さに舌を巻きます。そして本物の「ザビエル像」ではポーッと観ていたその絵の中に多くの深い意味が込められていたことが理解でき、とても新鮮でした。ぜひ皆様もこの機会をお見逃しなく！ 神戸市立博物館 Tel.078-391-0035 月曜休館



伊能忠敬 「沿岸地図」

★編集後記

本当になんでこんな事になってしまうのでしょうか。まさかの沖縄首里城炎上。沖縄県民のみならず、日本全体にとっての歴史的な建築物の喪失です。これから復興事業が始まりますが、三宮の街からも代表して11日に三宮街創り協議会の久利会長が寄付金を持参して沖縄にお見舞いに駆け付けました。復興事業はこれから長い年月をかけて行われますが、その困難さは容易に察しがつきます。前回の際にも木材の調達に苦労したのに、今回はそれ以上の厳しさが予想されます。しかし誰が考えてもコンクリートで出来た首里城なんて見たくありません。やはり木材を使って、優れた技術を持つ職人の手により再建された首里城でなければなりません。そしてそのためには多額の資金が必要です。街では皆様のご協力を得ながら、少しでも多くの寄付金を集めたいと考えております。どうぞ皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

